

雨樋修理工事

●《発生理由》

今年のように、冬の屋根の積雪、凍結がひどいとき、軒先にたまった雪や氷の重みで、軒樋が外れる、曲がる、割れるという問題がおきます。軒樋以外でも、集水器が外れたり、立て樋が詰まって破裂したり、さまざまな被害をもたらします。

また、雨樋も古くなると、耐久性が落ちて、割れやすくなったり、取付金具も弱ってきます。特に塩ビ雨樋は古くなると割れやすくなります。また、軒樋に水が溜まるような状態になると、錆が発生し、穴があき、雨樋の用をなさなくなります。

雨樋は、雨だれを防ぐとともに、住まいの外観を引き締める役割もあり、春の訪れとともに早めに直したいところです。

●《工事の進め方》

1、標準工事…1階部分や平屋の場合には、脚立を立てて工事を行うことができます。2階部分についても、下屋部分に脚立を立てて工事をおこないます。この場合、簡易足場代として25000円(税込)がかかります。

2、足場組み工事…屋根勾配が4寸を超えれば、脚立での工事は難しくなります。また、総2階の場合には、部分工事であれば二連梯子をかけて手直してできますが、①金具や雨樋の交換が必要な工事、②一面全部あるいは修理長さが3.6m以上の場合、さらに③全体修理の場合は足場が必要となり、別途足場代がかかります。

●《価格の積算》 ・カラー鉄板軒樋…1m当たり2500円(取付費、金具代、消費税込) ・塩ビ軒樋(金属芯入り)…1m当たり2900円(取付費、金具代、消費税込) ・コーナー…1箇所1480円 ・集水器(よせます)…1箇所1480円 ・立て樋…1m当たり2500円

・足場については、㎡あたり850円(税込)の計算となりますが、足場組み一式の最低価格があり、3万円となります(850円(税込)/㎡換算で35㎡まで)。

・金具は、普通45cm間隔で取り付けますが、丈夫にするために①30cmピッチにする、②丈夫な金具を使う場合には、それぞれ上記軒樋価格の5%アップになります。(両方やるときは10%アップ…2500円/mの場合、5%アップで2625円、10%アップで2750円となります。)

・材料がかからない簡単な工事のとき、(例…エルボの外れ直し、金具の曲がり修正、ゴミの除去等)は最低価格…5000円(税込)となります。

●《積算例》寄せ棟(4間×5間)総二階建ての場合、軒の長さ35m×2500円=87500円、コーナー4箇所×1480円=5920円、集水器4箇所×1480円=5920円、立て樋7.5m×4箇所×2500円=75000円、足場代216㎡×850円=183600円、合計で357940円(税込)となります。

●雨樋工事は、全部取替え工事が、勾配も、直線もまっすぐにとることができて、おすすめですが、足場代が別途かかります。他の工事(外部塗装とか外壁張替え等)の際に点検し、一緒に雨樋工事をすれば足場代は別にかからず安上がりになります。

信頼と実績、年間1000件を超える工事実績が信頼の証！

新築・増改築・リフォーム・エクステリア

マイクホーム